

## 東洋史専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
東洋古代中世史特論Ⅰ	六朝時代の諸問題	2	川合 安	前期 金曜日 2講時	
東洋古代中世史特論Ⅱ	隋唐時代の諸問題	2	川合 安	後期 金曜日 2講時	
東洋古代中世史特論Ⅲ	中国古代都城制の諸問題	2	内田 昌功	後期集中 その他 連講	
東洋近世史特論Ⅰ	中国近世史の諸問題Ⅰ	2	大野 晃嗣	前期 火曜日 5講時	
東洋近世史特論Ⅱ	中国近世史の諸問題Ⅱ	2	大野 晃嗣	後期 火曜日 5講時	
東洋近世史特論Ⅲ	清朝の外藩モンゴル統治の諸問題	2	岡 洋樹	前期 水曜日 4講時	
東洋近世史特論Ⅳ	10-13世紀の東ユーラシアをめぐる諸問題	2	渡辺 健哉	後期集中 その他 連講	
東洋史学研究演習Ⅰ	『宋書』礼志の研究Ⅰ	2	川合 安	前期 金曜日 5講時	
東洋史学研究演習Ⅱ	『宋書』礼志の研究Ⅱ	2	川合 安	後期 金曜日 5講時	
東洋史学研究演習Ⅲ	明清官僚制度研究Ⅰ	2	大野 晃嗣	前期 水曜日 5講時	
東洋史学研究演習Ⅳ	明清官僚制度研究Ⅱ	2	大野 晃嗣	後期 水曜日 5講時	

科目名：東洋古代中世史特論 I / Ancient and Medieval History in Asia (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

semester：1 学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM15203, 科目ナンバリング：LGH-HIS601J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：六朝時代の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Subjects of The Six Dynasties Time
3. 授業の目的と概要：中国の六朝時代（魏晉南北朝時代、220～589）は、秦漢古代帝国の崩壊をうけて、新たな国家秩序構築の模索が行われた時代であった。講義では、この時代につくられた政治・社会体制—いわゆる「貴族制」の構造や実態について分析し、当時を生きた人々の社会的活動や思想などの具体相を浮かび上がらせることを試みる。この混沌と模索の時代を生きた人々の営みについて、自分なりに考えつつ、中国史における六朝時代の意味について理解を深めることを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要)：This course covers the history of the Six Dynasties time (220-589) to help students understand the characteristics of the Six Dynasties in Chinese history.
5. 学習の到達目標：六朝時代の政治・社会体制の特質を理解し、興味をもった論点について、自分なりに調査して論じることができるようになる。
6. Learning Goals (学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students gain the perspective needed to review the common image of the Six Dynasties time.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
講義形式で授業を行い、2 回目以降、毎回、課題を課す。
  - 1、ガイダンス、六朝時代の概略
  - 2、秦漢帝国の概要
  - 3、九品官人法と貴族制の成立
  - 4、東晋の貴族制
  - 5、孫恩・盧循の乱
  - 6、劉宋政権の成立
  - 7、南齊の政治
  - 8、北魏・孝文帝の改革
  - 9、梁の武帝の改革
  - 10、『梁書』と『南史』
  - 11、侯景の乱
  - 12、陳朝の成立
  - 13、東魏・北齊の政治
  - 14、西魏・北周の政治
  - 15、総括と展望
8. 成績評価方法：  
2 回目以降の授業で毎回課す課題によって評価する。
9. 教科書および参考書：  
教科書：資料を配布  
参考書：川勝義雄『魏晉南北朝』（講談社「学術文庫」2003 年）。  
川本芳昭『中華の崩壊と拡大』（講談社「学術文庫」2020 年）。  
ほかは、講義中に紹介する。
10. 授業時間外学習：課題の作成を行う。
11. 実務・実践的授業/Practical business  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business  
《実務・実践的授業/Practical business》
12. その他：なし

科目名：東洋古代中世史特論Ⅱ／ Ancient and Medieval History in Asia(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM25203, 科目ナンバリング：LGH-HIS602J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：隋唐時代の諸問題
2. Course Title (授業題目)：Subjects of Sui and Tang dynasties
3. 授業の目的と概要：隋唐時代は、六朝時代の政治的分裂を克服して統一を回復した時代であったが、なお、多くの矛盾をかかえていた。このような隋唐時代政治史の諸問題について考察し、理解を深める。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course covers the political history of Sui and Tang dynasties (589-907) to help students understand the characteristics of the Sui and Tang dynasties in Chinese history.
5. 学習の到達目標：隋唐時代の政治史の諸問題について、その概略を理解し、特に関心をもった問題について、関連の研究論文等の調査を進め、考察できるようになる。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students gain the perspective needed to review the common image of the Sui and Tang dynasties.
7. 授業の内容・方法と進捗予定：  
講義形式で授業を行い、2回目以降、毎回、課題を課す。  
  
1、ガイダンス、隋唐時代の概略  
2、隋王朝の政治  
3、貞観の治  
4、唐と突厥  
5、唐と高句麗  
6、則天武后の時代  
7、玄宗の時代  
8、唐と渤海国  
9、安史の乱  
10、徳宗の時代  
11、憲宗の時代  
12、牛李の党争  
13、会昌の廢仏  
14、黄巢の乱  
15、総括
8. 成績評価方法：  
2回目以降、毎回の授業で課す課題によって評価する。
9. 教科書および参考書：  
教科書：資料を配布する。  
参考書：布目潮瀨・栗原益男『隋唐帝国』（講談社「学術文庫」、1997年）。  
氣賀澤保規『絢爛たる世界帝国』（講談社「学術文庫」、2020年）。  
その他、授業で紹介する。
10. 授業時間外学習：課題の作成を行う。
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：東洋古代中世史特論Ⅲ／ Ancient and Medieval History in Asia(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：後期集中 その他 連講

Semester：2 学期集中 単位数：2

担当教員：内田 昌功

コード：LM98829, 科目ナンバリング：LGH-HIS603J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国古代都城制の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Capital City Planning in Ancient China

3. 授業の目的と概要：この授業では中国の都城制について考える。対象とするのは主に先秦期から隋唐時代までの都城である。都城の形態は、都城思想や規範に基づきつつも、その形成にはその時代の政治的な課題や、文化や経済の特徴も深く関係している。こうした観点からこの授業では各時代の都城の形態と特徴について示したうえで、それがどのように形成されたのか検討する。その上で中国における都城制の特質とその展開の意味について考えていく。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : Students learn about the capital city planning in China, especially from the pre-Qin period to the Sui Tang period. The capital cities were designed not only by the ideas and norms about the capital, but also by the political issues and the characteristics of culture and economy in each era. First students learn about the form and characteristics of the capital cities in each era, then learns about how the capital cities were designed. Finally learn about the meanings of the changes in the capital city planning in China.

5. 学習の到達目標：1. 各時代の主要都城の形態について理解する。

2. 各時代の都城がどのように形成されたのかについて理解する

3. 中国における都城制の展開の意味について理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : 1. Students acquire basic knowledge about the forms of major capital cities in each era.

2. Students learn about how the capital cities were designed in each era.

3. Students learn about the meanings of the changes in the capital city planning in China.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

授業は講義方式で行う。

1. ガイダンス
2. 先秦の都城 1
3. 先秦の都城 2
4. 秦漢の都城 1
5. 秦漢の都城 2
6. 魏晋の都城 1
7. 魏晋の都城 2
8. 南北朝の都城 1
9. 南北朝の都城 2
10. 南北朝の都城 3
11. 隋唐の都城 1
12. 隋唐の都城 2
13. 宋以降の都城制の展開
14. 都城制の変化の意味
15. まとめと試験

8. 成績評価方法：

・小テスト (30%) 及び筆記試験 (70%) よって評価する。

9. 教科書および参考書：

・教科書は使用しない。

・参考書は授業時に適宜紹介する。

10. 授業時間外学習：・予習・復習が必要。課題のある回はそれを行うこと。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：東洋近世史特論 I / Early Modern History in Asia(Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 火曜日 5 講時

Semester : 1 学期 単位数 : 2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM12503, 科目ナンバリング：LGH-HIS604J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世史の諸問題 I

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Early Modern China

3. 授業の目的と概要：近世中国における社会と官僚制度・教育制度などについての基礎的知識を身につけると同時に、英語文献の読解力を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : The purpose of this lesson is to learn basic knowledge about society and the bureaucracy and education system in early modern China and to develop the ability to read English papers on Chinese historical research.

5. 学習の到達目標：欧米の中国史研究の読解を通して、その研究の視点を学ぶとともに、近世中国王朝の官僚機構と教育システムについて基本的な知識を身につける。なお、英語文献を日本語訳をしながら授業を進めるため、事前の翻訳作業と提出が必要となるので注意すること。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : Reading of Western Chinese history research, students learn its viewpoint and get basic knowledge about the bureaucracy and education system of the early modern Chinese dynasty. Students need to submit the translation of the English paper into Japanese before the class.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

この科目では Classroom を使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは【 】です。Classroom にアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 中国近世史の諸問題 I ー (1) 及び行政制度の基礎知識
3. 中国近世史の諸問題 I ー (2) 及び行政制度の基礎知識
4. 中国近世史の諸問題 I ー (3) 及び社会構造の基礎知識
5. 中国近世史の諸問題 I ー (4) 及び社会構造の基礎知識
6. 中国近世史の諸問題 I ー (5) 及び法律制度の基礎知識
7. 中国近世史の諸問題 I ー (6) 及び行政区画の基礎知識
8. 中国近世史の諸問題 I ー (7) 及び行政区画の基礎知識
9. 中国近世史の諸問題 I ー (8) 及び科举制度の基礎知識
10. 中国近世史の諸問題 I ー (9) 及び科举制度の基礎知識
11. 中国近世史の諸問題 I ー (10) 及び人事制度の基礎知識
12. 中国近世史の諸問題 I ー (11) 及び人事制度の基礎知識
13. 中国近世史の諸問題 I ー (12) 及び科举と近世中国社会に関する討論 (1)
14. 中国近世史の諸問題 I ー (13) 及び科举と近世中国社会に関する討論 (2)
15. 中国近世史の諸問題 I ー (14) 及びまとめ

8. 成績評価方法：

授業中の発表時にレポートの提出を要求する。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、プリントを日本語訳し、また疑問点をまとめてくる必要があり、それを授業中に問う。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：なし

科目名：東洋近世史特論Ⅱ／ Early Modern History in Asia(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 火曜日 5講時

Semester：2学期 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM22503, 科目ナンバリング：LGH-HIS605J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国近世史の諸問題Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Issues of the Early Modern China

3. 授業の目的と概要：近世中国における社会と官僚制度、教育制度についての基礎的知識を身につけると同時に、英語で書かれた中国史の研究論文の読解力を養う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The purpose of this lesson is to learn basic knowledge about society and the bureaucracy and education system in early modern China and to develop the ability to read English papers on Chinese historical research.

5. 学習の到達目標：英語で書かれた中国史に関する学術論文を読みながら、近世中国の社会と官僚制度。教育システムについて基本的な知識を学ぶ。なお、英語文献を日本語訳しながら授業を進めるため、事前の翻訳作業と提出が必要となるので注意すること。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this lesson is to learn basic knowledge about society and the bureaucracy and education system in early modern China and to develop the ability to read English papers on Chinese historical research. Students need to submit the translation of the English paper into Japanese before the class.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業はオンラインによって行う。

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー

2. 中国近世史の諸問題Ⅱー(1)及び行政制度の基礎知識

3. 中国近世史の諸問題Ⅱー(2)及び行政制度の基礎知識

4. 中国近世史の諸問題Ⅱー(3)及び商業史の基礎知識

5. 中国近世史の諸問題Ⅱー(4)及び商業史の基礎知識

6. 中国近世史の諸問題Ⅱー(5)及び法律制度の基礎知識

7. 中国近世史の諸問題Ⅱー(6)及び行政区画の基礎知識

8. 中国近世史の諸問題Ⅱー(7)及び行政区画の基礎知識

9. 中国近世史の諸問題Ⅱー(8)及び行政区画の基礎知識

10. 中国近世史の諸問題Ⅱー(9)及び科举制度の基礎知識

11. 中国近世史の諸問題Ⅱー(10)及び科举制度の基礎知識

12. 中国近世史の諸問題Ⅱー(11)及び科举制度の基礎知識

13. 中国近世史の諸問題Ⅱー(12)及び社会構造と科举制度に関する討論

14. 中国近世史の諸問題Ⅱー(13)及び経済構造と科举制度に関する討論

15. 中国近世史の諸問題Ⅱー(14)及びまとめ

8. 成績評価方法：

授業中の発表時にレポートの提出を要求する。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、プリントを日本語訳し、また疑問点をまとめてくる必要があり、それを授業中に問う。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：東洋近世史特論Ⅲ／ Early Modern History in Asia(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：岡 洋樹

コード：LM13403, 科目ナンバリング：LGH-HIS606J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：清朝の外藩モンゴル統治の諸問題

2. Course Title (授業題目)：The Qing's rule over Mongolia

3. 授業の目的と概要：清朝（大清国）は、中国最後の王朝であるが、最盛期におけるその支配下にはユーラシア内陸部の広大な空間が含まれた。とくにモンゴル高原から新疆北部に分布するモンゴル系遊牧民諸集団は、清朝の拡大過程で重要な役割を果たした。そもそも清朝自体が満蒙の王族と漢人諸侯による太宗ホンタイジ推戴を画期として成立したのであり、モンゴルはその国家構造の不可分の一部を構成した。1644 年の入関により中国本土支配の開始により、モンゴルは支配エリートたる八旗と内地諸省とともに新の統治カテゴリーの一つとしての「外藩」を構成した。「外藩」体制は、清代を通じて維持され、その最終的な消滅は、1920～30 年代のことである。それゆえ、清の国家構造の特徴である「外藩」は、近代の東北アジア史の「焦点」の一つであった。本講義では、近代をも視野に含めつつ、清朝統治における外藩部分の制度的・社会的特徴を概観しつつ、アジアにおける前近代帝国統治の意味を考察する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：The territory of the Qing dynasty, the last of Chinese dynasties, covered broad space of Inner Eurasian region where various nomadic peoples lived. Especially the Mongolian nomads played important role in the Qing's advancement. The Qing itself was established by Manchu-Mongolian noble princes and Chinese warlords when they enthroned Taicong Huntaiji in 1636 and the former Mongolian polities were comprised in its ruling structure. As the result of the Qing's advancement into China proper in 1644, Mongolian princes were incorporated in the administrative structure called "Wai fan". The Wai fan regime was maintained until the collapse of the Qing's rule in 1912 and finally disappeared in 1920-30s. Accordingly the collapse of Wai fan regime became a pivot of political turbulence of Modern Northeast Asia. In this lecture The historical context of the Qing's rule over Mongolia is discussed from the viewpoints of administrative system and social structure and furthermore the general nature of the rule of multicultural pre-modern empire.

5. 学習の到達目標：清朝の国家統治が、その内陸アジア部分においていかなる制度的特徴と、歴史的な文脈を有するのかを学ぶことで、東北アジアの文化的多様性の歴史的淵源を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Students are required to understand about the historical origin of the cultural diversity of modern Northeast Asia through investigating the Qing's ruling structure and its historical context of Inner Asian history.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

講義では、以下の論題について考察を行う。

1. 清朝のモンゴル統治カテゴリーとして「外藩」

清朝の国家構造は、皇帝とマンジュ諸王が率いる支配エリートとしての八旗、モンゴル諸王属下としての外藩、明の領域を継承した内地直省の三つの部分から構成されていた。ここでは、清の外藩の統治構造を制度的に概観する。

2. 外藩統治成立の歴史的経緯

清の統治カテゴリーとしての外藩は、17 世紀から 18 世紀にかけて漸次形成されたが、その統治要件の多くが北元期のモンゴルに由来するものであった。ここでは、清初から 17 世紀末までの満蒙関係を概観しつつ、北元期のモンゴル社会における統治のあり方が清の外藩へと取り込まれていく過程を検討する。

3. 清代モンゴルの社会構造

清の統治下におけるモンゴルの社会構造は、1950 年代末からモンゴル人民共和国の研究者によって、文書史料（档案）を用いて研究されてきた。その後モンゴル国や中国内モンゴルに残る膨大な文書史料が刊行され、当時モンゴルの社会構造が解明されつつある。ここでは、最新の研究成果を用いて、モンゴル遊牧民社会の特徴を論じる。

4. 「封禁政策」論の問題

清のモンゴル統治の特徴としてよく言及されるのが「封禁」と呼ばれる政策である。これは、内地直省と外藩の相互の人の往来を厳しく制限し、漢人とモンゴル人の分離統治をはかったとするものである。ここでは、近年の文書史料による研究成果を踏まえて、封禁政策の現実性について議論する。

5. 清朝のモンゴル統治の歴史的な文脈

清のモンゴル統治の歴史的な性格については、これまで様々な議論がなされてきた。ここでは、清の支配期のモンゴルを、モンゴル史の文脈に位置付けるとともに、清朝国家の歴史的な性格にも言及したい。

8. 成績評価方法：

出席と学期末に課するレポートにより評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考文献は講義の中で適宜指示する。

1 0. 授業時間外学習：出席者は、毎回講師が指示する文献を読むことによって、講義に対する理解を深めること。

1 1. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

1 2. その他：なし

科目名：東洋近世史特論Ⅳ／ Early Modern History in Asia(Advanced Lecture)Ⅳ

曜日・講時：後期集中 その他 連講

Semester：2 学期集中 単位数：2

担当教員：渡辺 健哉

コード：LM98830, 科目ナンバリング：LGH-HIS607J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：10-13 世紀の東ユーラシアをめぐる諸問題
2. Course Title (授業題目)：Some problems of East Eurasian history from the Tenth to the Thirteenth Century
3. 授業の目的と概要：本講義では、10-13 世紀の東ユーラシアの歴史を学ぶことによって、時代の特徴や個性を歴史的に理解することを目的とする。
4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course covers the history of East Eurasian(From the Tenth to the Thirteenth Century) to help students understand the characteristics of the times from a historical perspective.
5. 学習の到達目標：受講生が、この授業を通して東ユーラシア史の本髄を理解し、歴史に対してさらに深い興味を持つようになり、人間としての人格構成過程における重要な役割を果たせるようになることが到達目標である。
6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students understand history of East Eurasian and deepen their interest in history, with the hope that history will play an important role in forming their personalities as human beings.
7. 授業の内容・方法と進度予定：  
本授業は講義を中心に進める。
  - 01) 導論(1) 東ユーラシアとは？
  - 02) 導論(2) 羽田亨と満蒙史
  - 03) 遼(契丹)の歴史(1)
  - 04) 遼(契丹)の歴史(2)
  - 05) 宋遼関係史研究の現状と課題
  - 06) 金(女真)の歴史(1)
  - 07) 金(女真)の歴史(2)
  - 08) 宋金関係史研究の現状と課題
  - 09) モンゴル帝国の歴史(1)
  - 10) モンゴル帝国の歴史(2)
  - 11) 元朝の歴史(1)
  - 12) 元朝の歴史(2)
  - 13) 元朝の歴史(3)
  - 14) 総合討論
  - 15) まとめ
8. 成績評価方法：  
2 回の小テスト(20+20%)、期末レポート(40%)、平常点(20%)
9. 教科書および参考書：  
各時間に適宜資料を配布する。  
Readings will be distributed for each class.
10. 授業時間外学習：講義で紹介する参考文献を次の講義までに読んでおくこと。  
Students are expected to read the reference books introduced in each lecture before the next lecture.
11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness  
※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness  
《実務・実践的授業/Practicalbusiness》
12. その他：なし

科目名：東洋史学研究演習 I / History in Asia(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 金曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM15502, 科目ナンバリング：LGH-HIS608J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『宋書』礼志の研究 I

2. Course Title (授業題目) : A study of SONGSHU LIZHI

3. 授業の目的と概要：中国南朝時代の同時代史料たる沈約『宋書』の礼志を読む。南朝史料に特有の語彙や語法を習得するほか、官僚制度や礼制など、史料読解に必須の事項についての理解を深める。受講者は、毎回読む部分についての訳注を作成し、課題として提出する。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : By reading “Li Zhi” (礼志 : a chapter about ritual systems) in “Song Shu” (宋書 : History of Liu Song), students can deepen their understanding of historical documents of the Southern Dynasties, which differ from other classical Chinese documents terminologically and stylistically.

5. 学習の到達目標：独特の用語を含んで難解な南朝史料の訳注を作成できるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students translate historical documents of the Southern Dynasties into Japanese with notes.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

『宋書』巻 16 礼志三を読み、訳注作成作業を行う。

1、ガイダンス、『宋書』礼志とはどのような史料か

2、訳注作成の実例

3、『宋書』礼志を読む (1) 曹魏の宗廟 (1)

4、『宋書』礼志を読む (2) 曹魏の宗廟 (2)

5、『宋書』礼志を読む (3) 曹魏の陵寢

6、『宋書』礼志を読む (4) 孫呉の宗廟

7、『宋書』礼志を読む (5) 蜀漢の宗廟

8、『宋書』礼志を読む (6) 西晋の宗廟 (1)

9、『宋書』礼志を読む (7) 西晋の宗廟 (2)

10、『宋書』礼志を読む (8) 西晋の宗廟 (3)

11、『宋書』礼志を読む (9) 東晋の宗廟 (1)

12、『宋書』礼志を読む (10) 東晋の宗廟 (2)

13、『宋書』礼志を読む (11) 東晋の宗廟 (3)

14、『宋書』礼志を読む (12) 劉宋の宗廟

15、授業の総括

8. 成績評価方法：

毎回の授業で提出する課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する

参考書：授業中に紹介する

10. 授業時間外学習：課題（漢文史料の訳注）を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: “○”Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：東洋史学研究演習Ⅱ／ History in Asia(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM25502, 科目ナンバリング：LGH-HIS609J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：『宋書』礼志の研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：A study of SONGSHU LIZHI

3. 授業の目的と概要：『宋書』礼志の研究Ⅰの作業を継続するほか、Ⅱにおいては特に南朝における上奏文の形式や、合意形成の方法についての理解を深めつつ、当時の政治、制度、社会の実態究明を行えるようになることを目指す。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：By reading “Li Zhi” (礼志：a chapter about ritual systems) in “Song Shu” (宋書：History of Liu Song), students can deepen their understanding of historical documents of the Southern Dynasties, which differ from other classical Chinese documents terminologically and stylistically.

5. 学習の到達目標：訳注作成能力を向上させ、学術論文作成の基礎を確立する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：The purpose of this course is to help students translate historical documents of the Southern Dynasties into Japanese with notes.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1、ガイダンス

2、『宋書』礼志を読む (1) 東晋・元帝期の宗廟祭祀議論 (1)

3、『宋書』礼志を読む (2) 東晋・元帝期の宗廟祭祀議論 (2)

4、『宋書』礼志を読む (3) 東晋・穆帝期の宗廟祭祀議論 (1)

5、『宋書』礼志を読む (4) 東晋・穆帝期の宗廟祭祀議論 (2)

6、『宋書』礼志を読む (5) 東晋・穆帝期の宗廟祭祀議論 (3)

7、『宋書』礼志を読む (6) 東晋・安帝期の宗廟祭祀議論

8、『宋書』礼志を読む (7) 東晋・孝武帝期の明堂祭祀議論 (1)

9、『宋書』礼志を読む (8) 東晋・孝武帝期の明堂祭祀議論 (2)

10、『宋書』礼志を読む (9) 東晋・孝武帝期の明堂祭祀議論 (3)

11、『宋書』礼志を読む (10) 東晋・安帝期の殷祀議論 (1)

12、『宋書』礼志を読む (11) 東晋・安帝期の殷祀議論 (2)

13、『宋書』礼志を読む (12) 東晋・安帝期の殷祀議論 (3)

14、『宋書』礼志を読む (13) 東晋・安帝期の殷祀議論 (4)

15、授業の総括

8. 成績評価方法：

毎回の授業で提出する課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書：資料を配布する

参考書：授業で紹介する

10. 授業時間外学習：課題（漢文史料の訳注）を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:“○”Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

『宋書』礼志の研究Ⅰとの連続履修が望ましい。

科目名：東洋史学研究演習Ⅲ／ History in Asia(Advanced Seminar)Ⅲ

曜日・講時：前期 水曜日 5講時

セメスター：1学期 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM13503, 科目ナンバリング：LGH-HIS610J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清官僚制度研究Ⅰ

2. Course Title (授業題目)：Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：明清時代の漢文史料を精読することを通して、中国近世の政治制度、官僚制度に関する基礎知識を習得し、同時に自分で課題探究をするために必須となる文書読解の訓練を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will read carefully the historical documents of the Ming Qing period and develop basic reading skills crucial to understanding historical texts used in academic research. Moreover, Students will learn basic methods to study political institutions, bureaucracy and so on in Early Modern China.

5. 学習の到達目標：中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する（日本語訳でも訓読でもかまわない）。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：Through the reading of the primary historical materials of Ming Qing China, students will accustom to the basic form of the official document which is essential for analyzing the bureaucracy and society at the time. All students will give a presentation in every class by Japanese.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

この科目ではClassroomを使用して講義資料と講義情報を発信します。このクラスコードは【 】です。Classroomにアクセスし、クラスコードを入力してください。

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 明清官僚制度研究Ⅰー(1)
3. 明清官僚制度研究Ⅰー(2)
4. 明清官僚制度研究Ⅰー(3)
5. 明清官僚制度研究Ⅰー(4)
6. 明清官僚制度研究Ⅰー(5)
7. 明清官僚制度研究Ⅰー(6)
8. 明清官僚制度研究Ⅰー(7)
9. 明清官僚制度研究Ⅰー(8)
10. 明清官僚制度研究Ⅰー(9)
11. 明清官僚制度研究Ⅰー(10)
12. 明清官僚制度研究Ⅰー(11)
13. 明清官僚制度研究Ⅰー(12)
14. 明清官僚制度研究Ⅰー(13)
15. 明清官僚制度研究Ⅰー(14)及びまとめ

8. 成績評価方法：

発表内容（平常点）。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし

科目名：東洋史学研究演習Ⅳ／ History in Asia(Advanced Seminar)Ⅳ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM23504, 科目ナンバリング：LGH-HIS611J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清官僚制度研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：明清時代の漢文史料を精読することを通して、中国近世の政治制度、官僚制度に関する基礎知識を習得し、同時に自分で課題探究をするために必須となる文書読解の訓練を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will read carefully the historical documents of the Ming Qing period and develop basic reading skills crucial to understanding historical texts used in academic research. Moreover, students will learn basic methods to study political institutions, bureaucracy and so on in Early Modern China.

5. 学習の到達目標：1学期に引き続き、中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する(日本語訳でも訓読でもかまわない)。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：In the second semester, following the first semester, through the reading of the primary historical materials of Ming Qing China, students will accustom to the basic form of the official document which is essential for analyzing the bureaucracy and society at the time. All students will give a presentation in every class by Japanese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業はオンラインと対面のハイブリッドによって行う。

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー

2. 明清官僚制度研究Ⅱー(1)

3. 明清官僚制度研究Ⅱー(2)

4. 明清官僚制度研究Ⅱー(3)

5. 明清官僚制度研究Ⅱー(4)

6. 明清官僚制度研究Ⅱー(5)

7. 明清官僚制度研究Ⅱー(6)

8. 明清官僚制度研究Ⅱー(7)

9. 明清官僚制度研究Ⅱー(8)

10. 明清官僚制度研究Ⅱー(9)

11. 明清官僚制度研究Ⅱー(10)

12. 明清官僚制度研究Ⅱー(11)

13. 明清官僚制度研究Ⅱー(12)

14. 明清官僚制度研究Ⅱー(13)

15. 明清官僚制度研究Ⅱー(14)及びまとめ

8. 成績評価方法：

発表内容(平常点)。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○"Indicates the practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：なし